

2020 JCSPAジュニアサイクルスポーツ大会 全国大会
令和2年度 全国高等学校総合体育大会自転車競技大会中止に伴う全国大会

< テクニカルガイド >

Ver.2020-0904

この資料は監督会議・役員打合せで使用しますので印刷してご持参ください

(一財) 日本サイクルスポーツ振興会【JCSPA】

(公財) 日本自転車競技連盟【JCF】

全国高等学校総合体育大会自転車競技代替大会実行委員会



目 次

1	会場	P.3
2	提出物	P.4
3	ライセンスコントロール（受付）	P.5
4	監督会議	P.5
5	開会セレモニー	P.5
6	メダルセレモニー	P.5
7	閉会セレモニー	P.5
8	公式練習	P.6
9	会場使用について	P.6
10	駐車場	P.7
11	荷物輸送について	P.7
12	医療機関	P.7
13	宿泊	P.8
14	昼食・弁当	P.8
15	ライブ配信について	P.9
16	新型コロナウイルス感染症予防対策について	P.9
17	問合せ先	P.12
18	緊急時対応フロー	P.13
19	個人情報の取り扱いについて	P.17

【競技運営・確認事項・大会特別規則】

1	競技運営	P.18
2	大会特別規則（競技運営確認事項）	P.18
3	大会特別規則（競技種目等）	P.20
4	競技スケジュール	P.22

1 会場

京都向日町競輪場（周長 400m）

〒617-0002 京都府向日市寺戸町西ノ段 5 番地 TEL：075-921-7755



場内図



2 提出物

本大会への参加・観戦にあたり、下記書類・データについて事前に提出、もしくは大会開催期間中の各自 web 入力を必要とします。提出いただけない場合は参加・観戦をお断りいたします。

NO.	資料名	対象者	提出方法	提出期限
提出者：各校				
1	大会参加同意書	参加選手・チームサポート（生徒）	郵送（原本）	～9月 6日 必着
2	大会観戦申請書兼同意書	選手 1 名につき保護者・親族 2 名	郵送（原本）	～9月 6日 必着
3	大会観戦者リスト	選手 1 名につき保護者・親族 2 名	メール	～9月 6日 必着
4	救護用記録	参加選手・チームサポート（生徒）	メール	～9月 6日 必着
5	体調管理表【集計】	参加選手・監督他	メール	～9月10日 正午
6	体調管理表（2 週間分）	参加選手・監督他	集計後、各校にて保管	～9月末日まで保管
提出者：参加選手・監督各自				
7	体調チェックフォーム （大会期間）	参加選手・監督他	Web 上でフォームに入力	大会期間中毎日 会場に入るまで
提出者：観戦者各自				
8	体調管理表（2週間分）	観戦申請した保護者・親族	受付提出 （大会当日 ID と引き換え）	観戦当日
9	体調チェックシート （大会期間）	観戦申請した保護者・親族	受付提出	観戦当日

※各書類については全国高体連自転車競技専門部 HP よりダウンロードしてください。

<http://www.hs-cycling.com/>

※7については参加選手・監督各自、8－9については【観戦者各自】にて入力・提出をお願いいたします。（当日受付にて提出が確認できない場合、入場をお断りします）

7【体調チェックフォーム】（参加選手・監督他）

※開催期間中は下記フォームにて毎朝入力が必要です。

<https://forms.gle/pZ9wvabdJTQgHaj68>



【提出先】

【郵送物】

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2 丁目 4 番 11 号
（一財）日本サイクルスポーツ振興会
「JCSPA ジュニアサイクルスポーツ大会事務局」宛

【メール】

info@jcspa.or.jp

件名「JCSPA ジュニアサイクルスポーツ大会提出物」

3 ライセンスコントロール (受付)

(1) 選手・監督受付 令和2年9月11日(金) 京都向日町競輪場 選手宿舍入口前

	時間帯	区分
1	11:45~12:15	南関東・四国・九州ブロック
2	12:15~12:45	団体種目出場チーム
3	12:45~13:15	中国・北信越・東海・近畿ブロック
4	13:15~13:45	北海道・東北・北関東ブロック

- ア 各校の監督は上記の時間帯・場所に選手の競技者ライセンスを持参し提出すること。
- イ 配布されたIDカードにはライセンスを入れ、会場では常に携帯すること。
- ウ 欠場申請書、引率責任者・監督・チームサポート変更申請書、プログラム記載事項訂正申請書、その他申請書類は全国高体連自転車専門部HPからダウンロードし、受付時に提出。
また、大会期間中に欠場が生じる場合は、速やかに総務委員長に提出すること。
- エ 身体形態上の理由による適用免除の事前申請はしなくてよい。
- オ 必要書類の提出は可能な限りwebを利用する。

(2) 配付物

- ア IDカード 選手・引率責任者・監督・チームサポートの人数分を発行する。
- イ プログラム 選手数+1部
- ウ ボディ・ナンバー 各選手2枚 (安全ピンは配布しない。各自で用意する事)
- エ 参加記念品

4 監督会議

日時：令和2年9月11日(金) 13:00~13:30 (団体種目出場チーム)
16:45~17:15 (個人種目のみ出場チーム)

場所：京都向日町競輪場 特別観覧席棟(4コーナー) 屋外スタンド席

5 開会セレモニー

日時：令和2年9月12日(土) 12:00~(昼休み)

※バンク内より、スタンドに向けて実施。大会参加者は集合させない。

6 メダルセレモニー

各種目順位決定後、直ちにバンク内にて行う。(1~3位のみ) 服装は登録されたジャージ、マスク着用。サンダル、サングラスの着用禁止。写真撮影時のみマスクを外してもよい。

※チャンピオンジャージ・メダル・特別賞の授与のみ、賞状については別途配布。

※別途、場内ステージに記念撮影用スペース(バックパネル・大会バナー)を設置する。

7 閉会セレモニー

日時：令和2年9月13日(日) 全レース終了後

※バンク内より、スタンドに向けて閉会宣言等を行う。大会参加者は集合させない。

8 公式練習

(1) 公式練習 令和2年9月11日(金) ※12日、13日については公式練習を設定しない。

	時間帯	地域・区分
1	11:00~11:20	団体種目 チームスプリント出場チーム
2	11:25~11:50	団体種目 チーム・パーシュート出場チーム
3	12:00~12:20	北海道・東北・北関東ブロック
4	12:25~12:45	南関東ブロック
5	12:50~13:10	四国・九州ブロック
6	13:15~13:35	北信越・中国ブロック
7	13:40~14:00	東海・近畿ブロック
8	14:05~14:25	女子選手

※女子選手については、それぞれの地区別時間帯もしくは女子時間帯で練習ができる

(2) 練習の際には、監督またはチームの責任者が、バック側敢闘門より、選手とともに入場すること。

(3) 練習時の入退場について、入場は敢闘門 A 通路より行い、退場は同じく敢闘門 B 通路とし、それぞれ一方通行とする。

※役員の指示に従って速やかに移動すること。また、指示があるまで乗車禁止とする。

(4) 練習中の接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、すべて自己責任とする。

(5) 練習中の事故、仮設物設置の準備等の進捗状況により、公式練習時間が変更となる場合がある。

9 会場使用について

ア 選手ゾーンは、ホーム側正面スタンドとする。地区毎に参加人数に応じた区割りをする。

選手個々の座席の間隔は1m以上あける。

イ 選手ゾーン以外はローラー設置不可。(バンク内にもローラーは設置できない)

ウ 公式練習時以外のバンク内への入退場はホーム側地下通路を利用する。

エ 招集・検車は地下通路入口横テントにて行う。

オ 大会期間中は、ID カードの着用を義務づける。立入禁止区域には、絶対に入らないこと。

カ 女子の更衣については、選手管理棟2階会議室を解放する。

キ チーム応援横断幕等は、観戦の妨げにならないよう配慮すること。

※2~4コーナー外周部フェンス外側から張り付ける、観戦者ゾーン前は横断幕貼り付け禁止。

ク 大会期間中、正面スタンドに自転車、機材を置いて帰っても良いが、破損、紛失、盗難等については、すべて自己責任とする。夜間を含め巡回警備を行うが、紛失等の責任は一切負わない。

ケ 観戦ゾーンは、バンク外周部(1 コーナーから2 コーナー、4 コーナー)とする。

コ バンク外での自転車乗車は禁止です。

サ 競輪場の入場時にはサーモグラフィカメラによる検温を実施しています。体温が37.5度を超える場合は入場できません。マスク等の着用をしない場合も入場できません。

10 駐車場

- ア 大会関係者は京都向日町競輪場の「無料駐車場※1」を利用すること。
- イ HPより駐車証をダウンロードし、ダッシュボードの見える場所に置いておくこと。
- ウ 駐車中の事故、盗難等については、大会本部では一切の責任を負わない。
- エ 競輪場内への機材搬入出に関して車両の場内乗り入れは決められた時間のみ認める。

令和2年9月11日(金)～13日(日) 7:00～9:00、17:00～18:30

※上記時間以外については、場内への一切の車両乗り入れを禁止する。

- オ 上記時間外の機材搬入出に関しては選手宿舍前スペースへの一時乗り入れを許可するが、出来るだけ短時間で済ませる事。その間、ドライバーが車から離れる事を禁止する。

※1：無料駐車場図



11 荷物輸送について

- (1) 自転車を事前に競輪場へ送る場合は、【9日配達指定】で競輪場検車場にする事
【送り先】 〒617-0002 京都府向日市寺戸町西ノ段5番地 TEL: 075-921-7755
京都向日町競輪場検車場 「大会使用自転車」
- (2) 最終日(10:00～12:00)、検車場にて宅配の受付を行う。【元払い】のみ。

12 医療機関

- (1) 医療機関へ行く場合は、「健康保険証」(コピー不可)を必ず持参し、関係者が同行すること。
- (2) 怪我等で医務室にて受診した際は、医務室に備えている受診表に記入すること。
- (3) 新型コロナウイルス感染症感染の疑いがある場合は、場内救護所にて医師の診察を受ける。
- (4) 選手管理棟1階「次回選手控室」を隔離スペースとして利用する。
- (5) 落車対応医療機関 国立病院機構京都医療センター

京都市伏見区深草向畑町1-1 075-641-9161

※宿泊先での傷病については、宿泊先にお問い合わせください。受診後は大会本部まで報告をお願いします。

13 宿泊

- (1) 宿泊手配についてはコロナ対策の関係から必ず指定された旅行業者に申し込み、指定された宿舎に宿泊する事。全国高体連自転車競技専門部 HP より申込書をダウンロードし必要事項を記入の上、メール・FAX にて申込むこと。(宿泊施設・金額等については HP 参照)

申込締切日 令和2年8月20日(木) 17:00 まで

※お申込みは先着順にて受付させていただきます。お申込みが遅れますとご希望に添いかねる場合がございますので、お早めに申込みいただく事をお勧めいたします。

※お申込み後に、受領確認を E-Mail または FAX にて返信させていただきます。

宿泊につきましては、申込み締切日以降に配宿結果を順次通知いたします。

- (2) 宿泊先での注意事項

ア 貴重品管理は各校の責任とする。

イ 宿泊先の備品・器物の破損や紛失がないよう、十分注意すること。

ウ 宿泊先内では、レーザーシューズでの歩行は禁止する。

エ 宿泊先での自転車保管については、宿泊先と調整すること。

※宿泊先での自転車整備や、部屋への自転車の持ち込みは禁止する。

オ 宿泊先内では外出は控え、他室に出入りする事を禁止する。

- (3) 主催者側での計画輸送は行わない。

14 昼食・弁当

- (1) 期間中の弁当(昼食)については宿泊同様に参加校単位で取りまとめ申込むこと。

- (2) 弁当については、選手宿舎前の【受付】にて旅行会社より送付された「費用明細書」に記載された個数をお受け取りいただきます。(引換券はありません) 受け取った際に受取人の「署名」をお願いします。※事前に費用明細書の個数を確認してください。また費用明細書のコピーを持参してください。ただ受取りの際に提示する必要はありません。弁当の空き容器についても受付にて回収する。また感染症対策として、受け渡し時は各校代表者1~3名で受付すること。

- (3) 引き換え時間、回収時間は以下のとおりとする

弁当引き換え時間 11:00~13:00

空き容器回収時間 14:00~15:00

- (4) 昼食をとる前はアルコール消毒だけでなく、30秒以上の手洗いうがいを行うこと。

- (5) 昼食をとる際は、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話を控えめにして速やかに食事する。また、回し食いや回し飲みは禁止とする。

- (6) 食事後、弁当の空き容器は袋に戻し口をしっかりと密閉した状態で回収所に持っていくこと。

※宿泊・弁当に関するお問い合わせ先

〈指定業者〉	西鉄旅行株式会社 福岡第一支店 担当：樗木・畠中 〒810-0014 福岡市中央区平尾 1-3-11 2階 TEL：092-525-2211 FAX：092-525-3937 営業時間(平日) 9:30~17:40 (土日祝) 休み
--------	---

15 ライブ配信について

京都向日町競輪場 YouTube チャンネルにて下記の日時にライブ配信を行う。

令和2年9月11日(金) 14:30～17:00

9月12日(土) 9:00～17:30

9月13日(日) 9:00～13:30

YouTube チャンネル「京都向日町競輪場」

<https://www.youtube.com/channel/UCdBuL72WRnKDIvAekxS2NxQ>



16 新型コロナウイルス感染症予防対策について

大会参加者の共通予防対策

1. 大会参加について

- 選手、監督、コーチ、運営スタッフ等（以下、大会参加者とする）の中に感染者が確認された学校については、大会へ参加することはできない。
- 大会参加者は、事前に大会参加者注意事項を読み全ての項目に同意した上で参加同意書を提出する。提出しない場合は参加を認めない。
- 大会参加者は、大会の2週間前から検温結果及び体調について体調管理表【参加者】に記録し、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加できないことを事前に承知する。また、各校毎にデータを体調管理表【集計】に集計し事前にメールにて提出する。提出が無い場合は参加を認めない。
- 体調管理表【参加者】はデータ集計後、9月末日まで保管しておく。
- 体調管理表に異常があった場合、もしくは自己判断・体調不良によって本大会を欠場するに至った場合でも、欠場によるペナルティーは課さない。
- 全ての参加者・観戦者は、万一の緊急連絡先（連絡がつく携帯番号等）を事前に提出する。

2. 移動・宿泊について

- 大会参加者は、移動の際、可能な限り周囲との間隔を空けることとし、必ずマスクを着用する。併せて、可能な限り換気に努める。
- 大会参加者は、主催者が手配する宿泊施設に宿泊し不要不急の外出を控える。

3. 感染予防のための4つの基本行動

- ① 体調管理とその報告
- ② マスク着用の徹底
- ③ 人と人との距離を確保
- ④ こまめな手洗い、手指消毒

大会開催中の予防対策について

1. 選手、監督、コーチの感染予防対策

(1) 集合時の感染予防対策

- 大会参加者は、必ずマスクを持参し、着用する。
- 大会参加者は、施設に出入りする際、手指消毒剤をする。
- 大会参加者は集合時に体調をチェックし、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加しない。
- ※入場口にサーモグラフィカメラを設置し全員の検温を実施し、発熱がある者の入場は認めない。

(2) 大会受付時の感染予防対策

- 受付等において、参加者同士が十分な距離を確保して並び、受付する。

○選手個人での受付はせず、各校顧問が代表して行う。

○アルコール消毒液を設置し、手指の消毒を行う。

(3) 待機中の感染予防対策

○スポーツを行っていない待機中や会話をする際はマスクを着用する。天候条件により、息苦しさを感ずるようであれば、マスクを無理に着用しない。

○大会参加者は、個人間の距離（できるかぎり2m以上）を確保し待機する。

○大会中に大きな声で会話、応援等をしない。

○飲食は指定の場所以外で行わず、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話をなるべくせず速やかに食事をする。

○更衣室は選手管理棟 2 階会議室を使用し 1 回に利用できる人数は5名とし、換気をしながら使用する。使用者がいない時はドアを開放する。

○トイレ使用時はふたを閉めて汚物を流すようにし、手洗いはハンドソープを用い 30 秒以上しっかり手指を洗浄すること。また使用時以外ドアは開放した状態にする

(4) 試合中の感染予防対策

○選手は、ウォーミングアップ及び、試合中はマスクを外すことができる。

○試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。

○運動時、またそうでない時も周囲の人と距離を空けること。

○試合中、選手は唾や痰をはくことをしない。

○試合中、選手、監督、コーチは大きな掛け声、応援等をしないこと。

○ボトルの回し飲み、水道の飲用は禁止とする。タオルの共用はしない。

○会場で具合が悪くなった際は速やかに医務室へ移動する。

※医師の判断で隔離が必要な場合は、指定ルートで隔離ルーム（場内救護所 2 階）へ運ぶ。

(5) 試合後の感染予防対策

○大会参加者や観戦者がごみ箱にマスクを捨てることは禁止とする

○参加者並びに観戦者等に感染者が発生した場合には、参加者・観戦者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保し、参加者・観戦者は保健所などの聞き取りに協力する。

○試合後のミーティング・集合写真の撮影は禁止とする

2. 観客に対する感染予防対策

観戦は参加選手の保護者・親族のみとし、事前に大会観戦申請書兼同意書の提出を義務付ける。また、体調管理表【観戦者】提出と引き換えに ID カードを発行する。大会期間中、観戦する日ごとに体調チェックシート【観戦者】を提出しリストバンドを手首に装着してもらう。ID カードとリストバンドがない方の観戦は認めない。

(1) 受付時・試合観戦時における感染予防対策

○観客は、必ずマスクを持参し、着用する。

○大会当日、入場時にサーモグラフィカメラにて検温を実施、発熱等の症状がある者は入場できない。

○観戦中は周囲との間隔を十分空けるとともに、集団となつての応援、ならびに発声による応援は行わない。

○飲食をする際は、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話を控えめにして速やかに食事する。また、水分補給は個人のものを用意し、まわし飲みはしない。タオルは共用しない。

(2) 試合後の感染予防対策

- 選手や観戦者がごみ箱にマスクを捨てることは禁止とする
- 観戦者は入場時に配布する小さめのごみ袋を使用し、ごみは最後にまとめて捨てる。
その際口をしっかりと縛る
- 上記の対応を守れない観戦者は退場いただく。

3. 運営スタッフの感染予防対策に係る動向

競技運営スタッフとは独立する形で新型コロナウイルス感染症対応スタッフを配置し、場内の消毒や参加者・観戦者の予防対策を徹底させる。

(1) 服装

- 運営スタッフ
マスク（予備 1 枚）、手袋（予備 2 枚）、アルコールスプレー常備（小）、フェイスガード
- 感染症対策スタッフ
マスク（予備 2 枚）、手袋（予備 2 枚）、アルコールスプレー常備（大ボトル）、フェイスガード

(2) 選手待機場所、待機中における感染予防対策

- マスク着用を促すため、また大会参加者や観戦者に対し、飲食時の会話や距離の注意を促すため定期的に場内アナウンスを行う。また注意看板を持ったスタッフが巡回する
- 参加者並びに観戦者等に感染者が発生した場合には、参加者・観戦者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。

(3) 大会中の感染予防対策

- 大会参加者や観戦者に対し、大会中に大きな声で会話、応援等をしないよう定期的に場内アナウンスを行い、また注意看板を持ったスタッフが巡回する
- 運営スタッフは、試合中、業務上必要な時以外は、大きな声で会話をしない。
- 運営スタッフは、選手の呼気の影響を避けるよう、配置に注意して業務にあたる。
- 感染症対策スタッフは、場内ゴミをこまめに回収する。特に使用済みマスクや鼻水・唾液が付着したゴミは袋に入れて密閉する。
- 会場で具合が悪くなった者が出た際は、速やかに医務室へ移動させる。
※医師の判断で隔離が必要な場合は、指定ルートで隔離ルーム（選手管理棟）へ運ぶ。

4. 会場設備

(1) 受付

- 受付場所において、参加者等が距離をおいて並べるよう目印を設置する。
- 受付業務を行う運営スタッフは対面を避け、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽した状態をつくり受付を行う。
- 個人間の距離（出来る限り 2m 以上）を確保できる控え場所を設営する。

(2) アルコール消毒の配置

- 観戦受付、招集場所、次走選手控えテント、競技本部テント、トイレと手洗い場、ウォームアップ場所、更衣室男女（選手管理棟 2 階）、弁当受け渡し場所、受付等にアルコール消毒液を設置する。
- バンク入退場時は参加者の手に吹きかけ消毒を徹底する。
- アルコール消毒設置場所、手荒い、救護室、AEDなどを記載した緊急事マップを作成し、参加者・観戦者に配布する。（高体連自転車競技専門部 HP よりダウンロード）

(3) 定期清掃業務

- 1時間おきに巡回し、ドアノブや椅子などを消毒する（感染症対策スタッフが担当）。
※スタッフは作業が終わった際着用していた手袋を必ず交換する。
- ごみ回収は11時、14時、競技終了後の計3回行う。（感染症対策スタッフが担当）。
※担当者は業務後必ず手洗いうがい、手袋の交換を実施する。
- 保護者には入場時に小さめのごみ袋を渡し、最後にまとめて捨てるようにお願いする。
- スタッフが付け替えて使用済みのマスクを捨てなければいけない時は、ポリ袋に入れ口を縛り密閉した上で専用のごみ箱へ捨てる（手袋も同様）。

(4) 掲示物

- トイレや座席、受付など各所に掲示物を張り、感染症拡大防止に全員で取り組む。
- 座席の背には掲示物を掲示し、定期的に運営スタッフが「声援はお控え下さい」と書かれた看板を持ち歩く。また場内アナウンスでも定期的に注意を呼び掛ける。

(5) 手洗い場、トイレ

- 液体ソープ、ペーパータオル、アルコールスプレーを常備する。
- 使用後は30秒以上手の手洗いを促すようポスターを張る。

(6) 医療体制

- 主催者は期間中に参加者・観戦者から発症者もしくは発症が疑わしき者が出た場合は対象者を専用隔離スペースに隔離し、医師の判断を仰ぐ。（事前に地元消防・医療機関の受入れ体制を確保）
- 主催者は期間中、医師を2名以上配置し熱中症、コロナウィルス感染症に備える。
- 落車対応するスタッフは必ず手袋・マスク・フェイスシールド（又はゴーグル）を着用し、一度使用した担架等は都度十分に消毒を行う。

5. 大会中止判断について

- 主催者は、緊急事態宣言やコロナウィルス感染者増加等による社会情勢の変化により大会直前、期間中に関わらず大会中止を宣言することがある。
- 主催者は、大会参加者・関係者から新型ウィルスの感染者が確認された場合、もしくは感染者の濃厚接触者と判断された者が出た場合、直ちに大会中止を宣言する。

17 問合せ先

- (1) 当大会に関する情報・連絡事項は「全国高体連自転車専門部HP」にて確認すること。
 - ・大会 Facebook ページ <https://www.facebook.com/JCSPAjr.cycle>
 - ・全国高体連自転車競技専門部 HP <http://www.hs-cycling.com/>
- (2) 問い合わせ先

(一財) 日本サイクルスポーツ振興会
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目4番11号
TEL: 03-5276-0201 FAX: 03-3265-4822 MAIL: info@jcspa.or.jp

1 緊急時対応の基本的な考え方**(1) 緊急事案**

- ・災害(大雨、暴風、地震、落雷等)
- ・事故(交通事故等)等で傷病者が重篤な場合
- ・その他
- ・怪我、嘔吐・下痢等の体調不良、熱中症等が発生し医療機関に搬送した場合

(2) 救護本部及び救護所の設置等

選手管理棟 1 階の医務室を救護本部とする。西入場門横の医務室にも医師・看護師を配置する。
敢闘門近くに A E D (自動体外式除細動器)を設置する。

救急車の手配及び連絡について事前に調整を行うこととする。

(3) 参加者の安全確保及び被害の拡大防止

緊急事案が発生した場合、大会実行委員会はその事案を勘案し 1 1 0 番又は 1 1 9 番通報し、大会参加者の安全確保を図るとともに、必要な措置を講じて被害の拡大防止に努める。

(4) 競技会中止・中断等の協議

緊急事案が発生した場合、大会実行委員会は、必要に応じて関係団体・機関も含め、競技会の中止、一時中断、順延、入場者の制限、避難等について対応を協議する。

また、競技会の開催に先立ち、中止、中断等の判断の手順及び決定者(会議等)を、予め決めておくこととする。

なお、中断・再開した場合も含めて競技会の終了時刻については、選手及び役員・補助員等の健康管理に配慮し、午後 7 時までとする。

(5) 関係機関への報告

競技会の中止・中断等となった場合、大会実行委員会は関係機関に報告を行うこととする。

(6) 報道機関への対応

大会実行委員会は必要に応じて速やかに報道提供資料を作成し、メディア等へ資料提供又は記者会見を行うこととする。

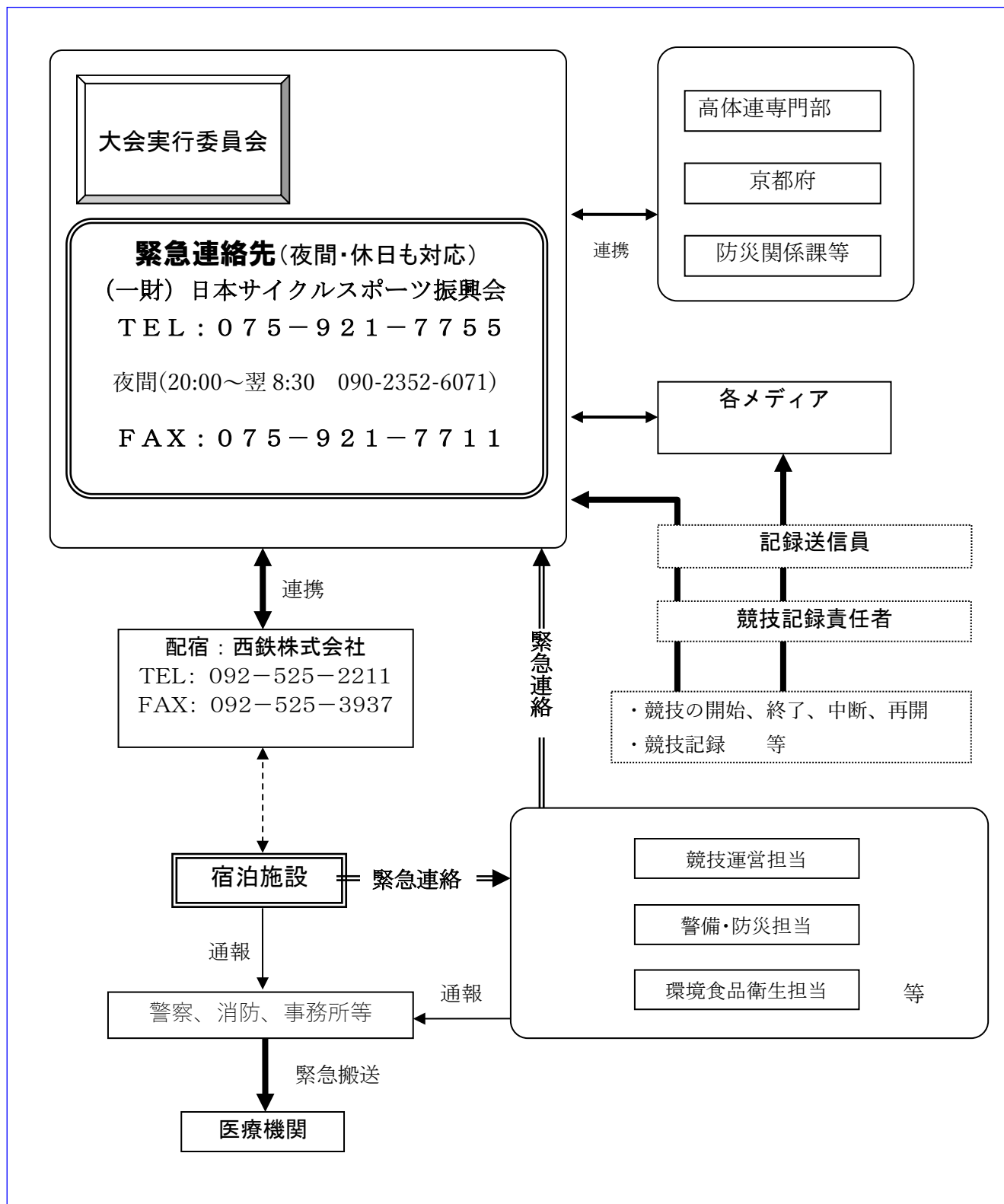
また、大会実行委員会は緊急事案の事実関係について、競技会場において報道機関に対応する。

なお、個人情報の取り扱いについては、人命に関わる特段の情報提供のほか、JCSPA の個人情報取り扱い規程(当ガイドブック P.17 に記載)に準拠するものとする。

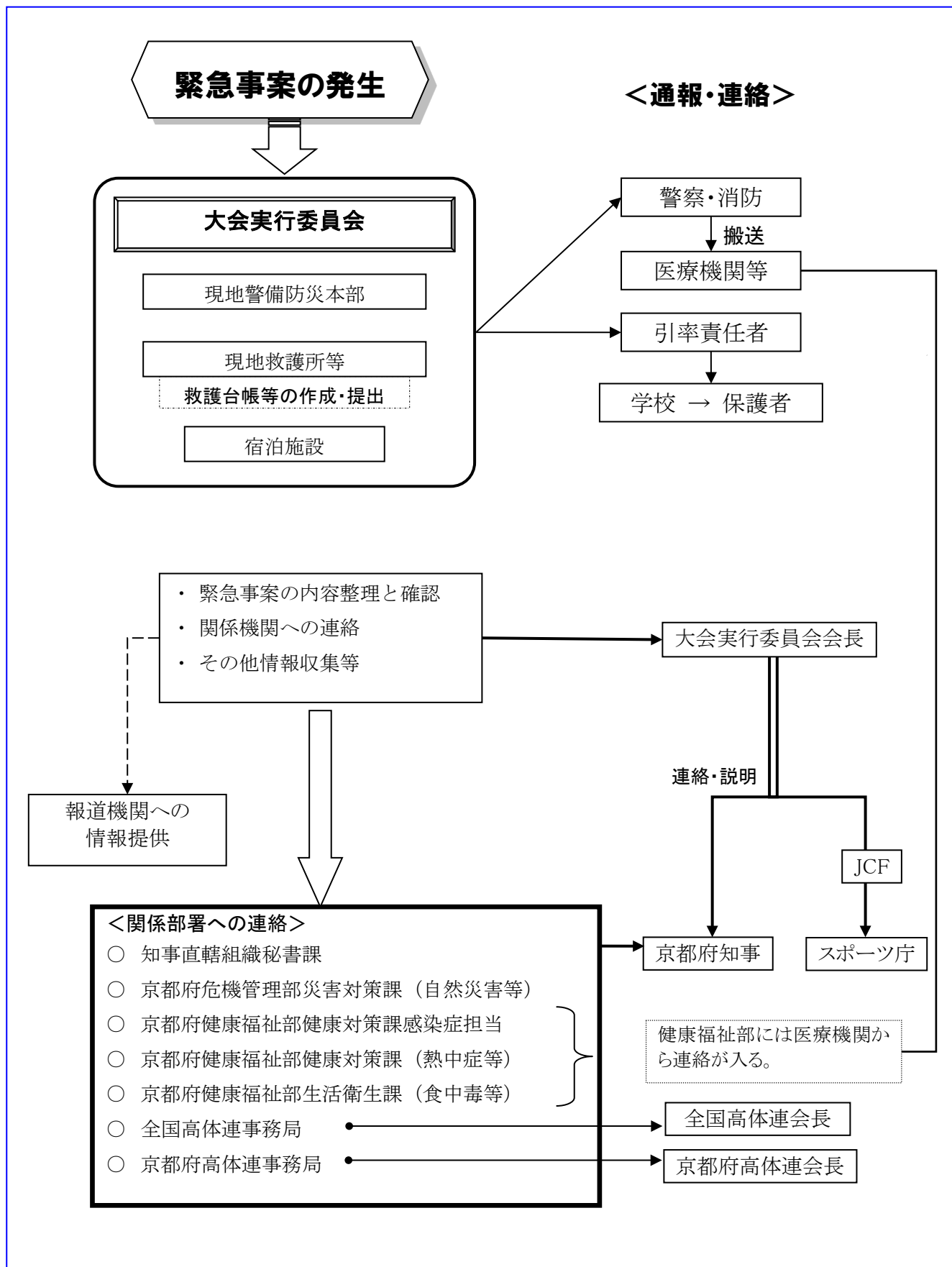
(7) 最終判断者

緊急対応の最終的な判断については、関係機関等と協議し、大会実行委員会が行うこととする。

2 運営体制（連絡フロー）



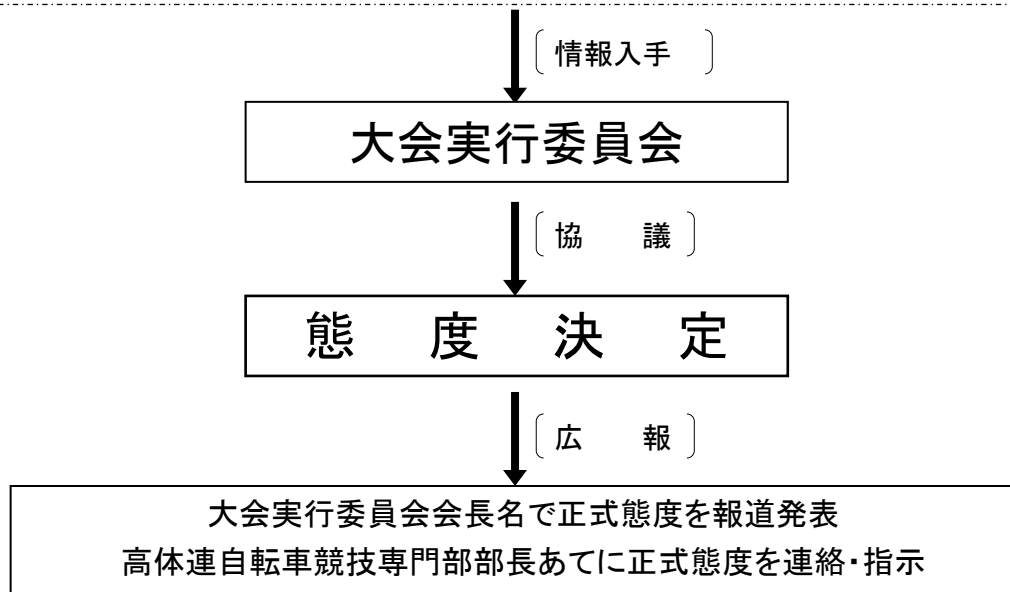
3 緊急事案発生時における連絡体制（フロー）



4 大会の中断・順延・中止等の決定に係る基本的な考え方(フロー)

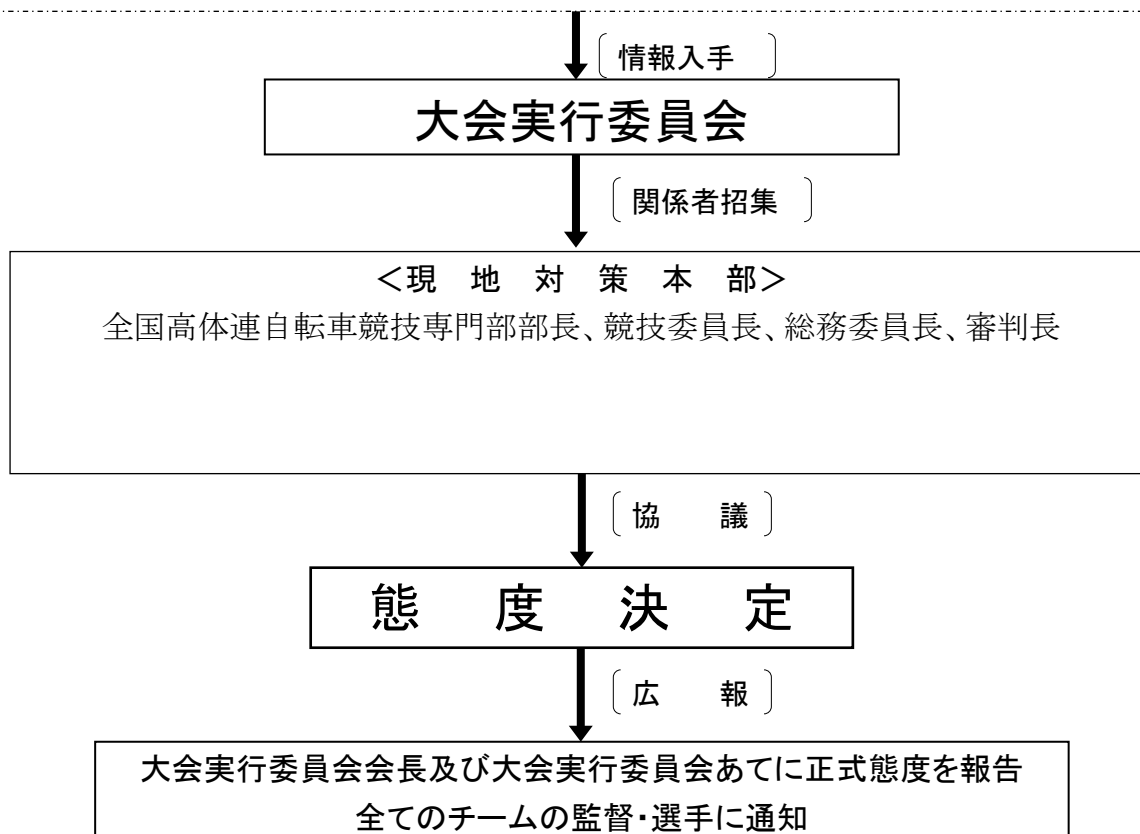
(1) 大会の中止等を検討しなければならない状況

京都府全域もしくは地域的に、参加者の「生命、身体若しくは財産に重大な被害が生じ、又は生じるおそれがある事態」が発生した場合



(2) 競技の中止等を検討しなければならない状況

京都府全域もしくは地域的な気象警報、暴風警報等の重大警報等が発令された場合や、雷雲の接近にともない落雷の危険が迫った場合など



19 個人情報の取扱いについて

一般財団法人日本サイクル振興会（以下「当会」という）は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を順守し個人情報を取り扱う。主事業である自転車競技の支援や実施、振興を図る上で提示される個人情報及び肖像権の取り扱いについて、以下の方針により適正な対応をするよう努めるものとする。

1. 基本方針

当会主催の大会参加に際し、関係書類で提供された個人情報の取り扱いについては、不適正な取り扱いによる個人の権利利益の侵害を未然に防止するよう、情報の管理、使用方法の適正化を図る。（個人情報とは、氏名や生年月日等により特定の個人を識別できるものをいう。また個人の身体情報等の属性に関する情報も、氏名等と一体になっていればこれに当たる。）

2. 主催大会関係の個人情報の取り扱いについて

（１）個人情報保護についての留意事項

本人から個人情報を取得する際は、予め本人にその利用目的を明示しなければならない。大会実施要項または参加申込書等に利用目的を明記し、説明をした上で事前許諾を得る。その上で記入された参加申込書の提出をもって個人情報の提供許諾を得たものとして対応する。したがって、大会のプログラムへの掲載等は、参加申込書の記載内容の範囲内に制限され、事前許諾が得られない場合は記載等はしない。

（２）肖像権についての留意事項

本人が大会関連セレモニーや試合等に参加し、また出場した場合、認められた報道機関等によって写真撮影が行われ、その写真が公開される可能性があることを事前に対象者に周知し、事前許諾を得ておく。

3. 提供された個人情報の取り扱い

下記の利用目的以外に使用することはできない。

（１）参加申込書に記載された情報

ア 大会プログラムへの掲載

イ 競技会場内でのアナウンス等による紹介

ウ 競技会場内外の掲示板、競技関係団体の HP 等へ掲載

（２）競技結果(記録)等

ア 大会記録、大会報告書、競技関係団体の HP 等への掲載（上位の記録、新記録等に関しては、次年度以降も掲載されることがある）

イ 認められた報道機関等により新聞、雑誌等へ掲載

（３）肖像権の取り扱い

ア 認められた報道機関等が撮影した写真が新聞、雑誌、大会報告書及び競技関係団体の HP 等で公開されることがある。

イ 認められた報道機関等が撮影した映像が中継、録画放映されることがある。

【競技運営・確認事項・大会特別規則】

1 競技運営

(1) 競技規則

(公財) 日本自転車競技連盟競技規則 2020 年版および大会特別規則に則り競技を実施する。

(2) 主要競技役員

競技委員長：高畑 秀規

総務委員長：河田 拓也

コミセールパネル：寺崎 豪紀（審判長）、中田 将次、岡本 健、阿部 貴宏

2 大会特別規則（競技運営確認事項）

(1) 記録の配信

ア スタートリスト、リザルト等のコミュニケは記録速報板等に掲示しない。

イ すべてのコミュニケは Twitter (@hscyclingresult) にて配信する。

<https://twitter.com/hscyclingresult/>



(2) ヘルメット

ア 選手はJCF公認およびJKA認定（競輪用）ヘルメットを練習時も含め使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット、劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。

イ あごひもが緩んでいる状態での使用は認めない。（指二本が入る程度）

ウ JCF公認条件に「タイムトライアル系の競技においてのみ使用できる物」と注釈がついている製品は、下記の種目の競技時のみ使用を認める。

①スプリント予選（200mタイムトライアル） ②男女タイムトライアル

③男女インディヴィデュアル・パーシュート ④チームスプリント ⑤チーム・パーシュート

(3) ヘルメットシール

ア スペシャルナンバーを記したヘルメットシールをケイリン、ポイント・レース、スクラッチで使用する。左右から確認できる位置にシールを貼付すること。**大会特別規則**

イ ヘルメットシールの配付は招集所で行う。回収については入退場口付近に回収かごを設置する。

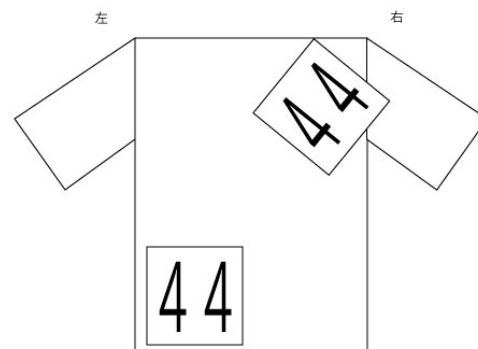
(4) ボディ・ナンバー（ゼッケン）装着方法

ア 男女タイムトライアル、男女インディヴィデュアル・パーシュート、チームスプリント、チーム・パーシュートについては 1 枚でもよい。1 枚の場合は腰部中央に取り付ける。

それ以外の種目については後方から読み取れる状態で腰部左、肩部右に各 1 枚ずつ取り付ける。

イ スプリントは予選から 2 枚付けること。

ウ ゼッケンは折り曲げたり切ったりしてはならない。



(5) ギア比制限

U17 のカテゴリーに該当する選手のギア比制限は、推奨値（7.01m）を適用しない。

大会特別規則

(6) 映像記録装置

装着を認めない。大会特別規則

(7) 靴下およびオーバーシューズ

競技中に使用する靴下とオーバーシューズは、踝（かかと）の中心と腓骨（ひこつ）頭中心の距離の長さの半分を超えてはならない。

(8) 競技会実施の判断基準

事 象	対 応	判 断 基 準
荒天時（大雨、洪水、暴風警報及び台風等）	実施態度（中止等）について検討、態度決定	事前に設定した時刻（例：午前6時等）において、競技開催地域に大雨、洪水、暴風警報が発表されている場合又は発表が見込まれる場合
落雷（降雨含む）	中断 （屋外競技）	・雷注意報が発表され、かつ、強い雨や稲光が感知できる場合 ・雷鳴が聞こえる場合 ・積乱雲が急激に成長し、厚い黒雲が頭上に広がった場合 以上のいずれかが確認できる場合
	再開可	晴れ、うす曇りで30分以上雷鳴や稲光を感知しなくなり、かつ、今後の予報により、落雷の恐れがなくなったことが確認された場合
竜巻	中断 （屋外競技）	積乱雲が近づく兆候（真っ黒い雲が近づき周囲が暗くなる／雷鳴や稲光が感知される／大粒の雨やひょうが降り出す／冷たい風が吹き出す等）が確認され、かつ、竜巻注意情報が発表された場合
	再開可	竜巻注意情報の発表から当該情報の有効期間（約1時間）を経過し、かつ、あらためて竜巻注意情報が発表されていない場合、又は、竜巻発生確度ナウキャストにおいて競技開催地域に確度1以上が発表されていない場合
光化学オキシダント （光化学スモッグ）	中断 （屋外競技）	①注意報、警報、重大緊急警報が発表された場合 ②光化学オキシダントによるものと思われる健康被害の報告があった場合 以上のいずれかが確認された場合
	再開可	<①の場合> 注意報が解除された場合 <②の場合> 健康被害が光化学オキシダントによるものではないと判明した場合
微小粒子状物質 （PM _{2.5} ）	必要に応じ、実施態度を検討、態度決定	PM _{2.5} の注意喚起情報が発表された場合
地震（震度4以上）	中断（なお、被害状況等によっては中止を検討）	①地震（震度4以上）が発生した場合 ②緊急地震速報が発表された場合 以上のいずれかが確認された場合
	再開可	競技運営本部において対応を協議し、競技再開可能と判断される場合
津波	中断（なお、津波警報及び大津波警報が発表された場合は中止を検討） 【臨海部】	①津波注意報、津波警報及び大津波警報が発表された場合 ②避難勧告・避難指示（緊急）が発表された場合 以上のいずれかの場合
	再開可	競技運営本部において対応を協議し、競技再開可能と判断される場合
火災	中断（なお、施設が損傷した場合等は中止を検討）	施設内で火災が発生した場合、または、周囲で火災が発生し、競技の続行が困難と判断される場合
	再開可	警察・消防を含め、競技本部において対応を協議し、競技再開可能と判断される場合
爆破予告、ネット犯罪予告等・不審物等発見	中断（なお、状況によっては中止を検討）	①爆破予告、ネット犯罪予告等があった場合 ②不審物等が発見された場合 ③爆破等により負傷者が発生した場合 以上のいずれかの場合
	再開可	警察・消防を含め、競技運営本部において対応を協議し、競技再開可能と判断される場合

3 大会特別規則（競技種目等）

（１）禁止事項

- ア 走路保護のため、アップオイル等を塗ることおよびレーサーシューズでの走路歩行を禁止する。
- イ 指定されたエリア以外での選手ピット設営は禁止する。

（２）走路入退場方法（選手・監督等）

入退場についてはホーム側地下通路を使用する。バック側敢闘門は指定練習時のみ使用。

（３）招集・自転車検査

- ア 招集・自転車検査所はホームスタンド前に設置し、出走および装備の確認、並びに自転車検査を実施する。
- イ 招集および自転車検査は各自の出走予定時刻の 15 分前までに完了させること。
- ウ チームスプリント、チーム・パーシュートに出場するチームは、競技種目開始時刻の 30 分前までに招集所にメンバーを届け出ること。
- エ 選手はジャージの袖に腕を通し、ボディ・ナンバーが完全に読み取れる状態で招集に臨むこと。
- オ ヘルメット公認シールの位置を選手自身が指し示して、競技役員から確認を受けること。
- カ 検車エリアからピット側へ出た自転車は、再入場時であっても自転車検査の対象となる。

（４）スタート方法

- ア スタートに間に合わない場合は、出走することができない。スペアホイールや工具等を必ず準備しておくこと。
- イ 発走機（スターティング・マシーン）使用種目
男女タイムトライアル、男女インディヴィデュアル・パーシュート
チームスプリント、チーム・パーシュート
- ウ 原則として競技役員は自転車に接触をしないので、発走機への自転車のセットおよび、乗車時のサポートについては選手または各チーム員が行うこと。
- エ 発走機を使わない種目は、各チームのスタッフがホルダーを務める。その際、選手が有利になることを目的として前方へ押し出さないこと。
- オ ポイント・レースおよびスクラッチのスタート位置は下図を参考にすること。選手は安全地帯（退避路）で乗車し、各チームのホルダーに支えられた状態で発走員の指示により先着順でスタート位置につく。スペシャルナンバー奇数の選手がインレーン、偶数の選手がアウトレーンとし、スペシャルナンバー 1 番の選手は、インレーンの先頭からスタートする。1 周回の競技外周回の後、ピストルの合図で正式スタートとする。



(5) タイムトライアル

欠場者及び機材トラブルなどの理由から同じ組の選手が出走できない場合は、単独発走となる。
ただし、同様の選手が複数いる場合は出走番組が変更となる場合もある。

(6) インディヴィデュアル・パーシュート、チーム・パーシュート

- ア 順位決定戦は行わない。タイム順で全順位を決定する。
- イ 追い付きが発生してもタイム測定のために完走すること。
- ウ チーム・パーシュートで相手に追いつかれそうになったチームは、追い抜かれるまでの間の先頭交代を禁止する

(7) チームスプリント

順位決定戦は行わない。タイム順で全順位を決定する。

(8) ケイリン

- ア ペーサはスプリンター・ラインの内側を走り、スタート時は 30 km/h、フィニッシュ 1.5 周前（600m 前）の 200m ラインを過ぎてトラックを離れるまでに、徐々に 50 km/h まで加速する。
女子のそれぞれの速度は 25km/h と 45km/h とする。大会特別規則
- イ 一人または複数の競技者が、ペーサが 200m ラインにおいてトラックを離れる前にペーサの前輪前端を追い抜いた場合、競技を停止し、失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。

大会特別規則

- ウ ペーサがトラックを離れた後は最終スプリント状態とみなすので、各競技者はフィニッシュ・ラインまで各自の走行ラインを保持すること。

(9) スクラッチ

予選 6km、決勝 8km で実施する。

(10) ポイント・レース

予選 12km、決勝 20km で実施する。

(11) 勝ち上がり方法

- ア スプリント 予選タイム上位 4 名は 1/2 決勝へ、5-8 位は 5-8 位決定戦へ 大会特別規則
- イ ポイント・レース 各組予選（組数 3）より上位 8 名を選出し、決勝（24 名）を行う。
- ウ ケイリン 組数・人数、勝ち上がり方法は、以下の通りとする。大会特別規則

【男子】 1 回戦（24 名）：4 組（6 名）上位 3 名は 1/2 決勝へ

1 回戦敗者復活戦は実施しない

1/2 決勝（12 名）：2 組（6 名）上位 3 名は 1-6 位決定戦へ、下位 3 名は 7-12 位決定戦へ

【女子】エキシビジョンとして、出場を希望する 500m TT 上位 6 名により実施する。

- エ スクラッチ 各組予選（組数 4）より上位 5 名を選出し、決勝（20 名）を行う。

(12) フィールド内での指示

- ア インディヴィデュアル・パーシュートとチーム・パーシュートについてはスタートライン付近にマスクもしくはフェイスシールド着用した者 1 名のみの指示を認める。大会特別規則
- イ その他の種目については声援及び音声による指示を禁止する。大会特別規則

(13) コーナー・ラバーパッド

ア スプリント予選の200mTTにおいては、3 コーナー入口から 4 コーナー出口まで5m毎に設置する。 **大会特別規則**

イ スタンディングスタート競技においては、すべての種目でコーナーの入口から出口まで5m毎に設置する **大会特別規則**

4 競技スケジュール

種 目	人 数	組	競技時間(予定)
9月11日(金)【第1日目】			
【公式練習(1)】※団体種目出場チーム TSP出場チーム TP出場チーム			11:00 ~ 11:20 11:25 ~ 11:50
【公式練習(2)】※個人種目のみ出場チーム 北海道・東北・北関東 南関東 九州・四国 北信越・中国 東海・近畿 女子選手			12:00 ~ 12:20 12:25 ~ 12:45 12:50 ~ 13:10 13:15 ~ 13:35 13:40 ~ 14:00 14:05 ~ 14:25
【選手受付(ライセンスコントロール)】※4グループに分けて受付 南関東・四国・九州ブロック 団体種目出場チーム 東海・近畿・北信越・中国ブロック 北海道・東北・北関東ブロック			11:45 ~ 12:15 12:15 ~ 12:45 12:45 ~ 13:15 13:15 ~ 13:45
【団体種目参加チーム監督会議】			13:00 ~ 13:30
【競技役員打合せ】			
1. チームスプリント決勝	タイムレース 16 チーム	8 組	13:40 ~ 15:00 ~
2. 4kmチーム・パーシュート決勝	タイムレース 9 チーム	5 組	15:00 ~ 15:50 ~
【個人種目のみ参加チーム監督会議】			16:45 ~ 17:15
9月12日(土)【第2日目】			
【競技役員打合せ】			
3. スプリント予選	1~4位は1/2決勝へ、5~8位は5~8位決定戦へ (41 名)	41 名	8:00 ~ 9:00 ~
4. 2kmインディビジュアル・パーシュート決勝	タイムレース (16 名)	8 組	9:40 ~
5. 3kmインディビジュアル・パーシュート決勝	タイムレース (17 名)	9 組	10:45 ~
昼休み 【開会セレモニー】【演奏 京都府立向陽高校吹奏楽部】			
6. 男子ケイリン1回戦	各組上位3名が1/2決勝へ (24 名)	4 組	11:40 ~ 13:00 ~
7. スプリント1/2決勝	各組勝者は1~2位決定戦へ、敗者は3~4位決定戦へ (4 名)	2 組	13:00 ~ 13:30 ~
8. スクラッチ予選	6km 各組上位5名が決勝へ (56 名)	4 組	14:15 ~
9. ポイント・レース予選	12km 各組上位8名が決勝へ (48 名)	3 組	15:35 ~
10. 男子ケイリン1/2決勝	各組上位3名が1~6位決定戦へ、4~6位は7~12位決定戦へ (14 名)	2 組	16:45 ~
9月13日(日)【第3日目】			
【競技役員打合せ】			
11. スプリント3~4位決定戦	(1回戦) (2 名)	1 組	8:00 ~ 8:30 ~
12. スプリント1~2位決定戦	(1回戦) (2 名)	1 組	
13. スプリント5~8位決定戦	(4 名)	1 組	
14. スプリント3~4位決定戦	(2回戦) (2 名)	1 組	
15. スプリント1~2位決定戦	(2回戦) (2 名)	1 組	
16. 500mタイムトライアル決勝	タイムレース (20 名)	10 組	9:05 ~ 9:35 ~ 9:50
【ダンスパフォーマンス 向陽高校ダンス部①】			
17. 1kmタイムトライアル決勝	タイムレース (28 名)	14 組	9:50 ~ 10:40 ~ 10:55
【ダンスパフォーマンス 向陽高校ダンス部②】			
18. ポイント・レース決勝	20km (24 名)	1 組	10:55 ~
19. スクラッチ決勝	8km (20 名)	1 組	11:45 ~
20. スプリント3~4位決定戦	(3回戦) (2 名)	1 組	12:10 ~
21. スプリント1~2位決定戦	(3回戦) (2 名)	1 組	
22. 女子ケイリン エキシビジョン	(6 名)	1 組	12:25 ~
23. 男子ケイリン7~12位決定戦	(6 名)	1 組	
24. 男子ケイリン1~6位決定戦	(6 名)	1 組	
【閉会セレモニー】			
			競技終了後すぐ